

## 2t「パックマンチルト」シャフト式「スケールパッカー」

ごみ収集車は、家庭や事業所などから出る廃棄物を、車両後部の積込み装置により荷箱の中で効率よく圧縮して、処分施設まで運搬する作業車両です。

近年、廃棄物の排出事業者への回収費請求やごみの減量化の促進、過積載の防止などを目的として計量装置付きのごみ収集車の需要が増えています。

当社ではごみ収集車に計量器を搭載し、ボデー全体を計量できる「スケールパッカー」を1988年より販売してきました。現在、ごみ収集車の生産台数の内、約10%をスケールパッカーが占めています。

この度、ラインナップを拡充させるため、2t車級パックマンチルトのスケールパッカーを開発しました。



GB51-822 シャフト式スケールパッカー

### 特長

#### ①低地上高化・低重心化

2t車級スケールパッカーは車両全高、投入口地上高が非計量装置付き車両と比較して大幅に高くなるため、作業性が悪く、改善が求められていました。そこで低地上高化と低重心化を目指し、ロードセル位置の見直しや新設計のフレーム構造を採用することで非計量装置付き車両と同等の車両全高、投入口地上高を実現しました。これにより従来からの課題であった収集時の作業性が向上しました。また、最大安定傾斜角度の確保が可能となり、架装可能な形式が増えたことでスケールパッカーのラインナップ拡充に繋がりました。

#### ②計量ユニットの最適化

2t車級の限られたスペースでもレイアウトを成立させるため、従来型のシャフト式ロードセルを更に小型化したものを新規設定しました。また、ロードセルの組み付け部であるサポートフレームを新規設計し、強度を担保しながら軽量化を図りました。この軽量化により従来品のスケールパッカーよりも積載量を確保することが可能です。

#### ③計量装置の共通化

計量装置は従来のスケールパッカーと共通にしました。これにより計量方法は変わりなく、オプションの操作ユニット(MDI-110)や「スケールリンク※」の取り付けも可能です。

※スケールリンク:回収情報をスマートフォンアプリとwebで記録・管理できる計量支援システム



### 諸元

架装シャシ	2t
積込 / 排出方法	回転板式 / ダンプ式
架装形式	GB51-822
ボデー容積	5.1m <sup>3</sup>
全高	約2,250mm
投入口高さ	約750mm
秤量	3000kg
目量	1kg

## 統一モデル排出板押出式「パックマン」

パックマンは、後方転覆の危険性がない強制押出式の排出方式と、汚水の飛散や、積込時の待ち時間が少なく作業性が良い回転板式の積込方式を採用した機種で、安全な排出作業と効率的な積込作業の両立が可能な製品です。

この度、全高の最適化・積込能力の確保と逆流防止の両立・汚水の飛散防止・安全性向上といった従来型の課題を解決し、一流の性能・品質を有する製品群に刷新するため、2003年のモデルチェンジ以来20年ぶりにフルモデルチェンジし、統一モデルへと進化しました。

統一モデルとは、極東開発工業のごみ収集車ラインナップとして設計思想を統一し、洗礼されたデザイン・ひとつ先をゆく作業性・現場の期待に応えるごみ収集車をコンセプトとして進化させた車両で、ボデーと一体感を与える専用設計のLEDリヤコンビネーションランプや、効率的な作業を可能とするワンタッチハンドルを標準採用しています。



### 特長

#### ①LEDリヤコンビネーションランプ

テールランプには統一モデル専用に設計したリヤコンビネーションランプを採用し、スタイリッシュなデザインにさらなる一体感を与えるほか、車両後方及び側方からの視認性を向上させ安全な収集作業に貢献します。



#### ②ボデー共通化

統一モデルのプレスパックとボデー構造を共通化することで、従来機種より荷箱容積アップ(従来比0.2~0.4m<sup>3</sup>アップ)を実現しました。ボデーサイドパネル下にプレス加工のサイドスチフナを標準装備とし、ボデー剛性の向上と力強いデザインを踏襲しています。

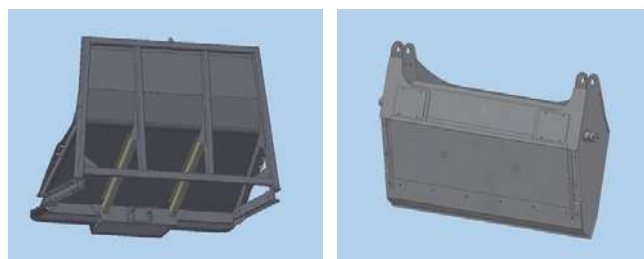
#### ③テールゲート共通化

統一モデルのパックマンチルトとテールゲート構造を共通化することで、部品点数の低減と投入口幅の拡大を実現しました。2t車:1,440mm、3.5t車:1,685mmクラス最大級の投入口幅を確保し、効率的にごみの投入を行うことが可能です。

また一体型ワンタッチハンドルを採用し、スライドカバー機構を最適化したインナーズライドカバーを標準装備することで、よりスムーズな開閉操作を実現し、作業負荷を軽減します。

#### ④積込・排出構造改良

従来よりご好評いただいている押込板・回転板の能力を継承し、積込装置の各構造を改良することで、亀裂・たわみの発生を防止し耐久性をアップさせました。



### 諸元

架装シャシ		2t	3.5t
架装形式		GB45-920	GB62-930
荷箱容積		4.5m <sup>3</sup>	6.2m <sup>3</sup>
荷箱寸法	長さ	2,315mm	2,725mm
	幅	1,735mm	1,980mm
	高さ	1,330mm	1,330mm
ホッパ容積		0.33m <sup>3</sup>	0.29m <sup>3</sup>
投入口	幅	1,440mm	1,685mm
	高さ	760mm	810mm
汚水タンク容量		82L	95L

## ごみ収集車 輸出専用ユニット

輸出向けごみ収集車は各々の現地の要求仕様に基づき、国内向けごみ収集車ユニットをベースに製造していました。

しかし、強度面において「過酷な道路状況」、「粗雑な使用方法」、「過少なメンテナンス頻度」といった市場状況は厳しく、国内向けユニットベースとしたごみ収集車ではこのような環境では市場要求に応えることができませんでした。また仕様において「積載量の確保と全長短縮化」、「多種コンテナに対応した反転装置」、「反転装置破損防止とごみこぼれの防止」が要求されていました。

そこで今回、海外の厳しい市場環境に対応できる強度を確保し、且つ現地仕様要求に対応したごみ収集車輸出専用ユニットを新規に開発しました。



輸出専用ごみ収集車 GB122-240J

### 特長

#### ①ボデー強度の確保

従来のボデーデッキは凹形状が標準仕様でしたが、応力集中の削減と断面剛性を上げたフラット形状に変更し強度を確保しました。

#### ②積載量確保と全長短縮化

ディスチャージシリンダ<sup>注1)</sup>を斜めに取り付けることにより積載量の確保、且つ全長短縮化を可能としました。

#### ③EN840規格 多種コンテナ対応の反転装置

垂直昇降機構を追加し、容積違いのコンテナにも対応可能としました。又、仕様が異なるコンテナ(アーム式と串刺し式)にも対応可能としました。



EN840規格 多種コンテナ対応反転装置

#### ④反転装置破損防止とごみのこぼれ防止の設定

積込装置から反転装置を遠ざけつつ、受け口を設けることで、『積込装置による反転装置の破損』および『コンテナでのごみ投入時のこぼれ』を防止しました。



受け口型テールゲート

### 諸元

架装型式	GB122-240J
容積	12.2m <sup>3</sup>
積込／排出方法	プレス式／排出板押出式
デッキ構造	フラット形状
排出板ディスチャージシリンダ <sup>注1)</sup>	斜め取付
反転装置	EN840規格 多種コンテナ対応
テールゲート	受け口型

注1) 排出板を前後に作動させるシリンダ